

第76回通常総代会に対するご意見・ご質問と回答

第1号議案 2024年度事業報告及び決算報告の承認並びに監査報告について (ご質問)

- 議案書P4 県内特産品、他県庁生協特産品について、できるのであればそれぞれの件数・金額・評価などを表にして示してはどうか。
- 同上 他県庁生協からの物産の販売実績も紹介してほしい。

(回答)

- ・来年度より検討いたします。

(参考)

< 県内特産品 >							単位：千円
品名	2024年件・点数	前年件・点数	前年比	2024年金額	前年金額	前年比	評価
とわだ短角牛	13			351			△
十三湖しじみ	10			38			△
嶽きみ	112	85	131.8%	780	555	140.5%	○
つがりあんメロン	37	26	142.3%	224	157	142.7%	○
毛豆	6	16	37.5%	25	67	37.3%	×
高德（りんご）	17	49	34.7%	82	213	38.5%	×
鴨鍋	0	4	0.0%	0	13	0.0%	×
すきやき肉	0	0		0	0		×
計	195	180	108.3%	1,500	1,005	149.3%	○
< 他県庁生協推薦品 >							単位：千円
品名	2024年件・点数	前年件・点数	前年比	2024年金額	前年金額	前年比	評価
おけさ柿	5	6	83.3%	29	31	93.5%	△
生干しいか他海産物	25	17	147.1%	102	49	208.2%	○
茶豆	6	6	100.0%	24	30	80.0%	△
干しいも	770	780	98.7%	418	421	99.3%	○
つぶらなカボス	31	25	124.0%	101	82	123.2%	○
丸神文旦	162	182	89.0%	1,007	1,095	92.0%	△
福井のうまいもの	7	0		118	0		○
計	1,006	1,016	99.0%	1,799	1,708	105.3%	○
< 県内特産品 > + < 他県庁生協推薦品 >							単位：千円
品名	2024年件・点数	前年件・点数	前年比	2024年金額	前年金額	前年比	評価
合計	1,201	1,196	100.4%	3,299	2,713	121.6%	○

- 議案書P11 五所川原店・十和田店・黒石店が100%超の供給高で、八戸店が減少した要因は何か。

- ・五所川原店・十和田店はエアコンやストーブなどの電化品の売上が好調でした。黒石店は作業服や長靴等の売上が大きくありました。八戸店は担当者が1人十和田店との兼務となり、巡回できなくなった公所があったため減少しています。

○議案書P16 組合員数・出資金額ともに年々減少しているが、どのように評価しているか。今後の対策についてお知らせいただきたい。

・県職員の退職者に対し新採用者の数が減少傾向にあるので、組合員数・出資金額も減少してきているが、毎年新採用職員向けに組合員加入キャンペーンを実施し、積立出資を促すなどの対策をしています。

○議案書P17 役員に関する事項について、非常勤理事で15年以上に及ぶ役員は長期間過ぎるのではないかな。

・長期間県庁生協の経営に携わっていただいている方と、新たに理事となった方で、バランスのとれた運営を心がけています。

○議案書P20 施設の所在地について、五所川原店の地番は栄町6-1ではなくて栄町10ではないかな。

・ご指摘のとおりでしたので、訂正させていただきます。

○議案書P25 雑収入756万の内容は何か。

・業者に負担していただいている自販機の電気料(約 200 万)、子会社からの出向者給与受入(約 240 万)、法人税計上差額分(約 40 万)他です。

○議案書P29 物件費の中で特に通信交通費が膨らんだのは、除名者への通知ハガキを発送したためかな。

・除名通知ハガキの発送代は約 290 万となっており、郵便代の値上げもあったため通信交通費が大きく増えました。

○議案書P34 割賦未収金の回収率は98%ではないかな。

・回収率の計算方法は、当期回収高÷(期首残高+当期発生高)となっており、回収率は 80.1%となります。

○議案書P46 食堂の赤字は監事から存続の可否の検討の要望が出るほどの状況なのか。検討はどのようなスケジュールで行うと考えているのか。

・食堂3店舗の赤字額は合計で約 825 万です。議案書P42をご参照ください。今後は理事会及び売店・食堂改善委員会等に諮って進めていくことになります。

第2号議案 2024年度剰余金処分(案)について

(ご質問)

○別途積立金の目的とその必要性について改めて説明していただきたい。

(回答)

・目的を定めた積立金だと、それ以外の用途で取り崩すことができませんので、不測の事態に備えて別途積立金として計上しています。

第3号議案 2025年度事業計画及び予算(案)について

(ご質問)

○議案書P52 物件費のうち、渉外費・雑費を150%超に増加させた理由は何か。

(回答)

・渉外費・雑費については2024年度の実績金額が少ないこともありパーセンテージが高くなっていますが、コロナ禍から少しずつ回復傾向にあり、お取引先等との交流等の見込みにより昨年実績に上乘せした予算としています。

○議案書P32 通信交通費の予算が2024年度実績より上回っている理由は何か。

・総代会において除名の決議をした後、対象者へ決定した旨の通知ハガキを発送しなければなりません。その分の発送代を予算として計上しています。

○議案書P49 サービス事業・電化品の販売の周知方法について、どのように考えているか。機関紙・チラシのみでは一時的なもので認識しない人も多いと思われる。

・現状では機関紙・チラシの他、ホームページや巡回販売等で周知していきます。

第4号議案 役員報酬の最高限度額(案)について

(ご質問)

○毎年この議案があるが必要なのか。

(回答)

・県庁生協定款第26条において、「理事及び監事に対する報酬は、総代会の議決をもって定める。～以下略」とありますので、毎年総代会での承認を得る必要があります。

第5号議案 組合員の除名について

(ご質問)

○除名対象者名簿は必要なかったのではないか。

○6月16日に廃棄する必要がある除名対象者名簿を作成した理由と費用を教えてください。

(回答)

・総代会に欠席される方が書面による議決権を行使するためには、具体的な除名対象者が示されなければ有効とならないことが法令等により定められております。そのためすべての総代に事前に名簿を送付する必要がありました。費用については約20万です。

○順不同の名簿だがどういう基準で作成したのか。

・組合員No順に作成しております。

- 同姓同名の人がかなり見られるが、すべて別人なのか。
 - ・ほとんどは同姓同名の別人ですが、中には二重加入されている方もいます。
- 3万有余人すべてに連絡したのか。
 - ・除名対象者名簿に記載されている方のうち、明らかに住所不明とわかる方を除いた約3万4000名に除名通知ハガキを発送しました。
- 県庁退職者の名前も見られるが、退職者も除名対象となるのか。
 - ・県職員及び県庁退職者は除名対象外としています。お名前の方は同姓同名または二重加入されている方ではないかと思われます。
- 現在組合員が約5万2000人いるが、除名対象者全員が除名となると3万人超の組合員が減ることになる。今後は基本的に県職員と退職者が主な組合員となるということか。
 - ・本来県庁生協は職域生協でありますので、基本的には県職員及び県庁退職者が組合員加入の対象であることが定款で規定されております。議案書に記載のとおり、このことについて当局からの指導もあり、今回このような経緯に至りました。
- 出資金の返還によって、かなりの減額になるのではないか。
 - ・Ⅰ項組合員の出資金額に対してⅡ項組合員の出資金額の割合は非常に低くなっております。今回の除名で減少する出資金は1000万ほどと思われます。
- 年々退職者が増えて加入者が減っていくと予想されるが、出資金減少に対する対策は考えているのか。
 - ・毎年新採用職員向けに組合員加入キャンペーンを実施し、積立出資を促しております。
- 組合員が減れば総代の数も減らしていくのか。
 - ・今後は総代定数を減少することになります。
- 1年間の未利用は何をもって判断したのか。
 - ・団体保険、割賦販売、CO・OP 共済、灯油の定期配送、日専連カード所持の有無等から判断いたしました。
- 対象者への通知はどのような方法で行われたのか。
 - ・除名通知ハガキを発送しました。(約3万4000名)
- 出資金の新規積立は行われていない方になるのか。
 - ・今回の除名については、出資金300円のみの方を対象としました。

- 除名者には出資金の払い戻しが行われるのか。見込額と経営への影響はどうか。
 - ・除名された方については出資金の返戻はされません。ただし、除名決定の日から2年以内に請求されると、2分の1(150円)を払戻しいたします。

(その他のご意見)

- 赤い羽根共同募金への取り組みについて、これからも継続されることを要望します。
- 過去の利用者へのチラシの配布、電化品やリフォーム等の利用者への利用後のアンケートを実施してみてはどうか。
- 生協加入時、二重加入にならないようデータを一元管理していただきたい。
- 定款第12条(1)は厳しいように感じる。1年間ではなく、期間を広げるとか、今後一考していただきたい。
- 組合なのに組合員を正しく把握していなかったことに驚いている。今回の除名に要した経費はもっと有効な使い道があったはずだ。このような杜撰な運営は二度とあってはならない。
- 議案書P49〔販売部門〕において、縮小・閉鎖とあるが、利用組合員の声を十分に聞き、懇談会なども視野に入れて判断されたい。